

平成31年度全国学力・学習状況調査 分析シート（小学校）

中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことです。

国語	平均正答率 (%)	中央値 (問)	話す・聞く (%)	書くこと (%)	読むこと (%)	言語 (%)
府中市	65	10.0	73.1	54.5	82.3	55.6
東京都	65	10.0	73.1	55.4	83.0	55.7
全国	63.8	10.0	72.3	54.5	81.7	53.5

○平均正答率は全国を上回り、東京都と同じでした。中央値は全国・東京都と同じでした。
○領域別では、読むこと、話すこと・聞くことはよくできていました。書くこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項に課題が見られました。

【教科に関する調査から分かったこと】（ ）は問題番号
○資料を読んで疑問に思ったことについて調べ、その疑問に対する答えを選択・記述することが、よくできています。（2一）
△調べて分かったことを報告する文章として、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと（1三）や豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書くこと（3三）に課題が見られました。目的や意図に応じて自分の考えやその理由を明確にし、自分の考えや理由をまとめて書くことの指導が必要であることが分かりました。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（質問紙調査から）

	市	都
2時間以上	7.4%	8.0%
1時間以上	13.3%	12.7%
30分以上	26.0%	22.9%
10分以上	24.8%	24.8%

【質問紙調査から分かったこと】

○読書をする時間の質問に対して、「30分以上」と回答した児童の割合は全国及び都を上回っています。

算数	平均正答率 (%)	中央値 (問)	数と計算 (%)	量と測定 (%)	図形 (%)	数量関係 (%)
府中市	69	10.0	64.8	58.0	77.9	70.2
東京都	70	10.0	66.7	57.5	79.0	72.2
全国	66.6	10.0	63.2	52.9	76.7	68.3

○平均正答率は全国を上回り、東京都を下回りました。中央値は全国・東京都と同じでした。
○領域別では、図形、数量関係がよくできていました。数と計算や量と測定に課題が見られました。

【教科に関する調査から分かったこと】（ ）は問題番号
○2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを棒グラフから読み取ることが、よくできています。（2(2)）
△減法の計算の仕方についてまとめたことを基に除法の計算の仕方についてまとめること（3(2)）や、示された除法の式が何を求めている式といえるのか意味を理解すること（3(4)）に課題が見られました。示された式の意味や計算の仕方を読み取って解釈したり、説明したりすることの指導が必要であることが分かりました。

5年生までの算数の授業について（質問紙調査から）

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合	市	都
算数の勉強は好きだ	69.7%	72.0%
授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	76.7%	75.8%
授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	86.0%	83.1%
授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	86.1%	84.6%

【質問紙調査から分かったこと】

○△普段の生活の中での活用を考える、もっと簡単に解く方法を考える、公式や決まりがそうなる理由も理解するようにしている児童の割合が高い一方、算数の勉強が好きと答える児童の割合が低いことが分かりました。

平成31年度全国学力・学習状況調査 分析シート（中学校）

中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことです。

国語	平均正答率 (%)	中央値 ^[10問中] (問)	話す・聞く (%)	書くこと (%)	読むこと (%)	言語 (%)
府中市	78	8.0	75.4	84.9	77.9	73.3
東京都	74	8.0	72.2	83.0	74.3	69.6
全国	72.8	8.0	70.2	82.6	72.2	67.7

○平均正答率は全国・東京都を上回りました。中央値は全国・東京都と同じでした。
○領域別では、書くことがよくできていました。また、話すこと・聞くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項も概ねよくできていました。

【教科に関する調査から分かったこと】（ ）は問題番号
○掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書くことが、よくできていました。文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ力が身に付いています。（1三）
△話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書くこと（2三）に課題が見られました。話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめることの指導が必要であることが分かりました。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（質問紙調査から）

	市	都
2時間以上	4.9%	4.7%
1時間以上	7.6%	7.4%
30分以上	15.1%	14.0%
10分以上	28.1%	24.3%

【質問紙調査から分かったこと】

○読書をする時間の質問に対して、「30分以上」と回答した児童の割合は全国及び都を上回っています。

数学	平均正答率 (%)	中央値 ^[16問中] (問)	数と式 (%)	図形 (%)	関数 (%)	資料の活用 (%)
府中市	65	11.0	69.7	78.6	44.4	60.6
東京都	62	11.0	65.7	75.0	42.1	57.8
全国	59.8	10.0	63.8	72.4	40.8	56.3

○平均正答率は全国・東京都を上回りました。中央値は全国を上回り、東京都と同じでした。
○領域別では、図形がよくできていました。また、数と式も概ねよくできていました。関数については課題が見られました。

【教科に関する調査から分かったこと】（ ）は問題番号
○証明で用いられている三角形の合同条件を書くことがよくできています。証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しています。（7(1)）
△冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶこと（6(1)）に課題が見られました。数学的に表現したことを事象に即して解釈することについての指導が必要であることが分かりました。

解答を言葉や数、式を使って説明する問題をどのように解答しましたか。（質問紙調査から）

	市	都
全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	65.2%	62.5%
書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	31.7%	33.2%
書く問題は全て解答しなかった	2.9%	4.0%

【質問紙調査から分かったこと】

○解答を言葉や数、式を使って説明する問題について最後まで解答を書こうと努力している生徒の割合が都を上回っています。学習したことを活用して粘り強く考え、生活や学習に生かすことが大切です。

英語	平均正答率 (%)	中央値 ^[21問中] (問)	聞くこと (%)	話すこと (参考値・%)	書くこと (%)	読むこと (%)
府中市	61	13.0	71.3		61.9	51.2
東京都	59	13.0	71.1		59.3	49.5
全国	56.0	12.0	67.9	30.8	55.6	45.8

○平均正答率は全国・東京都を上回りました。中央値は全国を上回り、東京都と同じでした。
○領域別では、聞くことが概ねよくできていました。読むことに課題が見られました。

1,2年生のとき受けた授業について(質問紙調査から)

「行われていた」「どちらかといえば行われていた」と回答した生徒の割合	市	都
スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動	90.8%	85.4%
自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動	85.9%	81.1%
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動	79.7%	76.9%
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動	78.2%	74.9%

【教科に関する調査から分かったこと】()は問題番号

○教室英語を聞いて、その指示の内容を理解することがよくできています。(1(2))

○月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択することがよくできていました。(5(3))

△与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書くこと(9(3)①)に課題が見られました。情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことの指導が必要であることが分かりました。

【質問紙調査から分かったこと】

○スピーチやプレゼンテーション等の発表、自分の考えの生徒同士のやり取りや、書いてまとめる等の活動が「行われていた」「どちらかといえば行われていた」と回答した生徒の割合は、全国及び都を上回っています。